

平成 23 年 5 月 12 日

各 位

会社名 株式会社イントランス  
代表者名 代表取締役社長 麻生 正紀  
(コード番号 3237 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理部門管掌 濱谷 雄二  
兼経理・総務部部长  
(TEL 03-6803-8100)

## 平成 23 年 3 月期通期業績予想との差異に関するお知らせ

平成 22 年 11 月 10 日に公表した平成 23 年 3 月期通期業績予想との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値との差異(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,800	百万円 150	百万円 100	百万円 100	円 銭 738.92
今回発表実績 (B)	2,386	53	16	15	113.39
差 額 (B-A)	△413	△96	△83	△84	
差 額 率 (%)	△14.8	△64.4	△83.2	△84.7	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	143	△352	△398	△420	△6,109.23

#### 2. 差異の理由

当社が属する不動産業界は、政府による経済対策や低水準で推移している住宅ローン金利等により住宅需要は一時の低迷期から着工戸数及び販売戸数が増加して改善の動きが見られており、また、日本銀行による不動産投資信託の買い入れ効果により市場心理が好転し、全体として回復基調が見られております。

このような状況下、当社は、プリンシパルインベストメント事業において不動産再生事業の強みを活かし早期再生、早期販売を推進し、またソリューション事業において不動産売買仲介業務のみならず、コンサルティング業務及び第二種金融商品取引業による信託受益権売買仲介等のフィービジネスの領域を拡大してまいりました。

これらにより、当事業年度において、前事業年度以前より保有していた全物件の売却、開発・再生型案件の取得、及び不動産の購入・売却に係るコンサルティング業務の受託に至りましたが、新規物件の売却が計画値に及ばなかったため、前回発表予想との差異が生じました。

以 上